



Infrastructure
for Multi-layer Interoperability

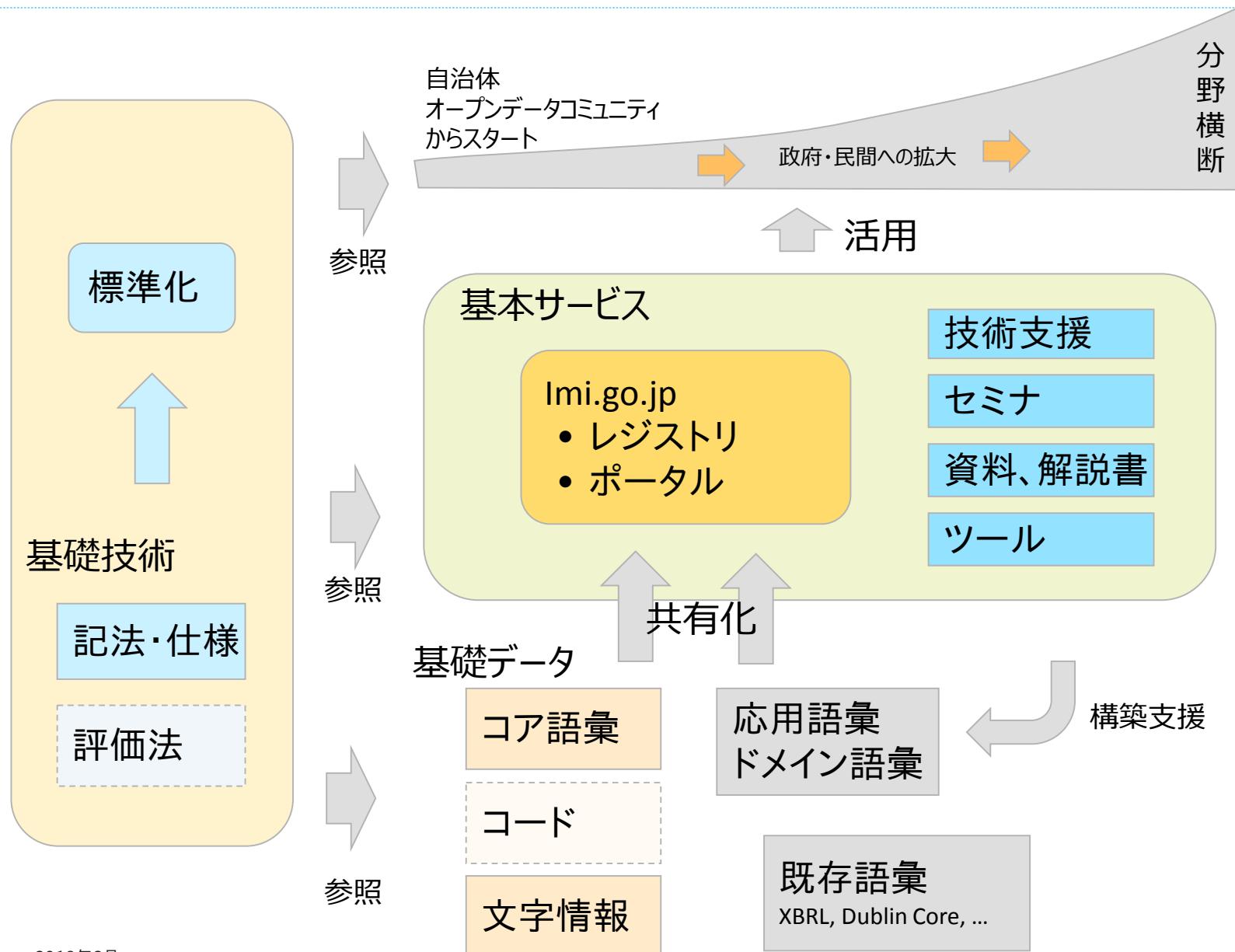
資料1

利用促進WG(第三回) 檢討資料

2019年2月
IMI事務局 (IPA)



事業推進狀況



基本の方針:

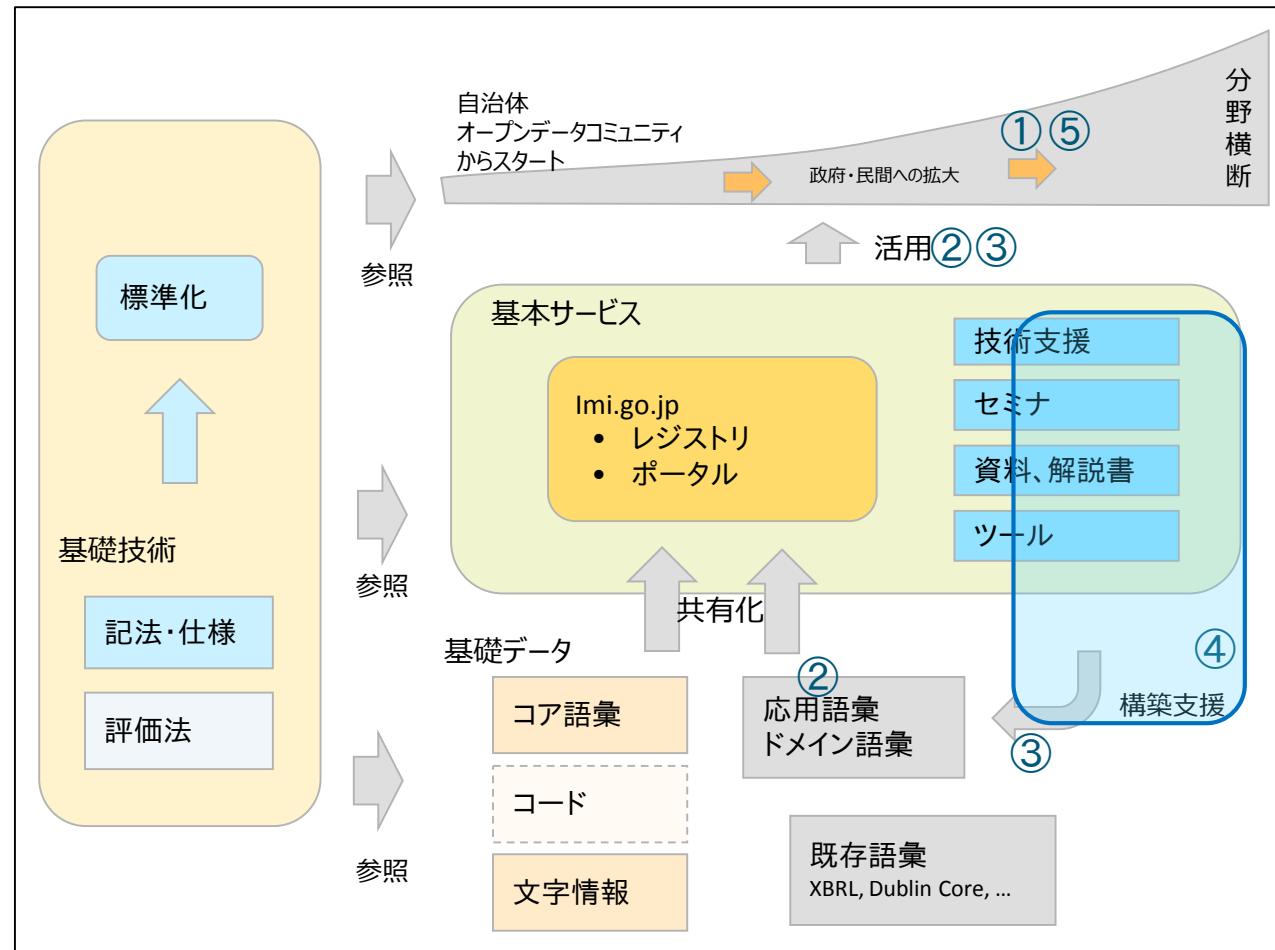
経済産業省の運用する「法人インフォメーション」を一つのターゲットとしてIMIの充実を図り、その成果普及を図る

実施内容(利用促進WG):

- ▶ ①IMI普及戦略のロードマップ策定[参考資料1] (今回のWGにて最終確認)
 - 「人、モノ、サービスがつながる社会へ:Connect Everything」
 - 自治体オープンデータやデータ活用コミュニティから、行政システムやITベンダー及びデータ流通市場にターゲットを徐々にシフト
- ▶ ②法人インフォ対応から得られた知見をIMI全体としての展開を検討
 - ドメイン語彙整備に必要な要件を整理
- ▶ ③法人インフォ用語彙、DMDおよびツール類の提供
 - 法人情報用語彙と法人インフォの活用促進を図るためのDMDを提供
 - 法人インフォを支援するためのDMD作成支援ツールやデータ正規化ライブラリを提供
- ▶ ④公共分野におけるIMIの普及推進
 - 推奨DS(指定緊急避難場所一覧)にターゲットを絞り「検討コミュニティ」に本TFが参加する形で語彙の検討及びデータ可視化例の作成を進めた。DMDや語彙のドラフトを公開(予定)
- ▶ ⑤社会全体におけるIMIの普及推進
 - 現行のIMIパートナー制度の状況整理と改善策の検討、Q&Aコンテンツの作成等



事業の実施内容



- ①IMI普及戦略のロードマップ策定
②法人インフォ対応から得られた知見をIMI全体としての展開を検討
③法人インフォ用語彙およびDMDの提供

- ④公共分野におけるIMIの普及推進
⑤社会全体におけるIMIの普及推進

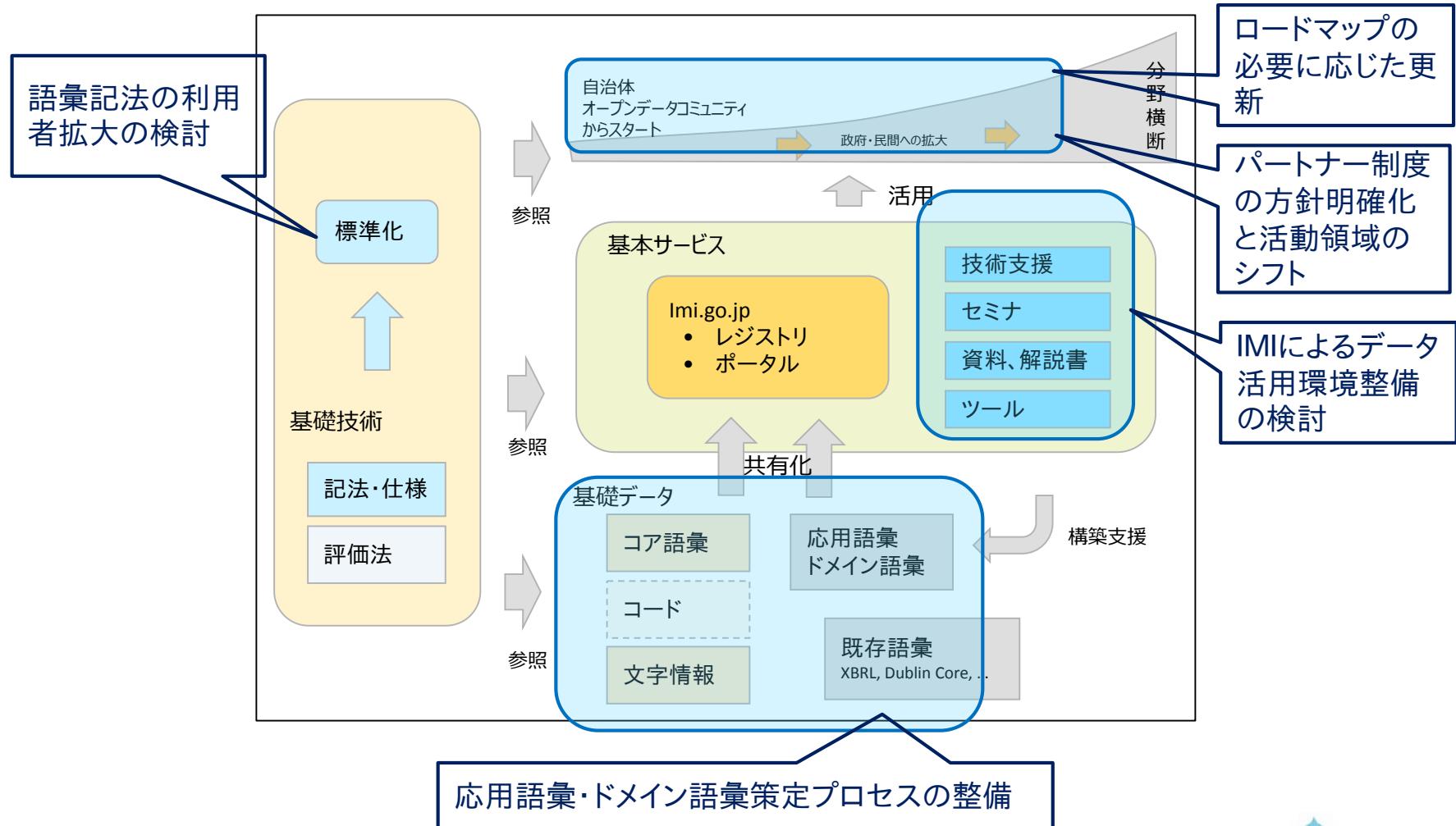




今後の検討

今後の注力ポイント（事務局案）

企業ユーザー等からドメイン語彙に関する検討方法や制度の確立が強く求められている
IMI適用の実践ガイド(コア語彙解説・アプリケーション実装等)の不足が指摘されている



- ▶ ロードマップの必要に応じた更新
 - ▶ 2019年度に向けたロードマップの最終確認[参考資料1]
 - ▶ 今後の見直し体制・スパンの検討
- ▶ パートナー制度の方針明確化と活動領域のシフト
 - ▶ 基本方針・戦略の明文化
 - ▶ 具体的な協業体制のあり方の検討
- ▶ IMIによるデータ活用環境整備の検討
 - ▶ ドキュメント整備の優先順位検討
 - コア語彙解説書、アプリケーション適用ガイド 他
 - ▶ 法人インフォで作成したツールの一般化
 - DMD作成・マッピングツールの取り込み、データ正規化ライブラリの公開
- ▶ 語彙記法の利用者拡大の検討
 - ▶ 國際標準化を睨み、語彙記法をデファクトとして活用する利用者を増やす



▶ ドメイン語彙／コード運用・技術改定に関する検討
ユーザー支援TFをはじめとするTFからの提言の検討

▶ ガバナンス体制の整備

- ・ドメイン語彙の運用体制に期待される技術的要件の定義、文書化
- ・ドメイン語彙成立プロセスに対する公式見解
- ・IMI検討部会の検討範囲の明示

▶ ドメイン語彙／コードに関する検討プロセス

- ・公開ドラフト(PD)の扱い
- ・類似プロジェクトのマッチング



本日の議論を取りまとめ、推進委員会へ報告

成果
{
 申し送り事項



TF活動狀況詳細



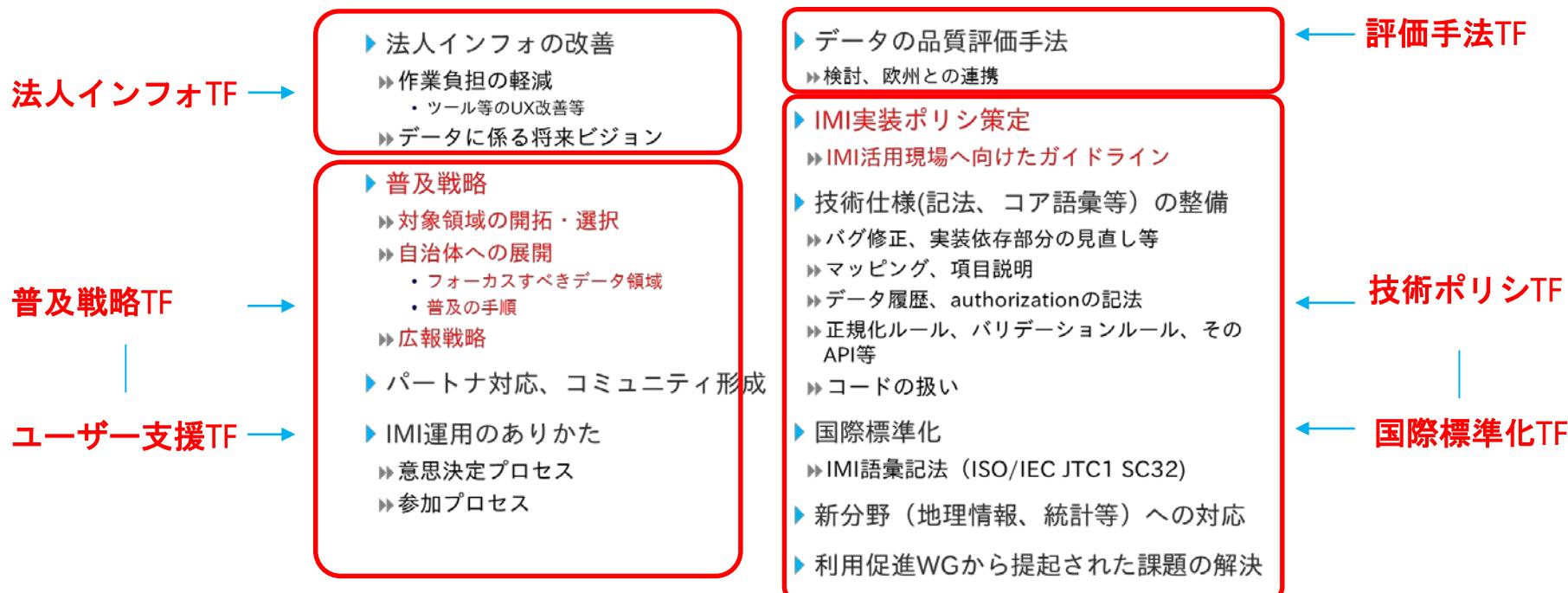
- ・ タスクフォースは、解決すべき課題の必要に応じ、隨時改廃する
- ・ ステアリングコミッティが改廃の検討、委員の指名を行う

初期状態として

技術検討WGの下に「評価手法TF」「技術ポリシTF」「国際標準化TF」

利用促進WGの下に「法人インフォTF」「ユーザー支援TF」「普及戦略TF」を置く

課題リストとTFとのマッピング



▶ ミッション

▶ 法人インフォの将来像及びIMI適用に関する技術検討を行う。

▶ 想定する主要成果物

▶ 法人ドメイン語彙、法人インフォDMDおよび解説

▶ 検討メンバー(敬称略;○は主査)

▶ 筧井大祐、大槻文彦、○菅又久直、武田英明、松澤有三、山本暖、吉本明平

▶ 検討状況

▶ 法人インフォ用語彙の整備

- 変更履歴を扱うためのクラス用語の新設
- 指標を扱うためのクラス用語の新設
 - 上記2点は法人情報用応用語彙に取り込みを合意
- 法人活動情報を扱うクラスの用語の継承関係の是正
 - 既存の語彙との互換性に影響があるため、法人情報用応用語彙には取り込みず、来年度以降のドメイン語彙整備の課題とした
- 法人情報用応用語彙の語彙定義およびスキーマを提供



▶ 法人インフォ用語彙検討に際してコア語彙改定等の検討を技術ポリシーTFへ依頼

- コード型への説明プロパティ追加、法人型への関与プロパティ追加を提言
 - コード型への説明プロパティ追加および実体型への関与プロパティ追加を技術ポリシーTFにて決定
- 文書型に日時を表現するプロパティがないため、応用語彙として表現する方法の検討を依頼
 - 文書型に日時が無いのはコア語彙の不備のため、日時プロパティを追加を技術ポリシーTFにて決定

▶ 法人インフォ用DMDおよびマッピングの提供を実施

- 法人インフォで提供されるデータ項目一覧に準拠したDMDとスキーマを提供
- 法人情報を収集するために使用したフォーマットに対するマッピングファイルを提供

▶ 法人インフォ用DMDおよびマッピング、データ変換を支援するツール(WebAP)の展開

- ツール設計を合意し、自治体に対してツールに関する意見をヒアリング

▶ 法人インフォのデータを正規化するためのライブラリの提供

- 住所変換コンポーネント
 - 一つながりの住所表記を入力として、都道府県・市区町村・町名・丁目・番地・号にデータを展開する
- 法人種別の抽出コンポーネント
 - 一つながりの法人名表記を入力として、組織種別位置・組織種別・組織種別コードを展開する
- データバリデーションコンポーネント
 - データモデルとデータインスタンスを入力として、データインスタンスに対する検証およびデータモデルに合致する形式への補填やトリミングを実施する
- 上記コンポーネントの適用については法人インフォ事業者にて検討いただき、適用フローを作成



▶ ミッション

- ▶ IMI普及戦略の方針に沿い、IMIパートナー(自治体も含む)に対する連携戦略の検討と実践を行う。

▶ 想定する主要成果物

- ▶ 活動報告

▶ 検討メンバー(敬称略;○は主査)

- ▶ 太田垣恭子、大山水帆、川島宏一、小林巖生、○下山紗代子、武田英明、深見嘉明、藤井政登

▶ 検討状況

- ▶ [参考資料2]参照

▶ ミッション

- ▶ IMIを普及させるための戦略全般について議論を行う。

▶ 想定する主要成果物

- ▶ IMI事業のロードマップ

▶ 検討メンバー

- ▶ IMI検討体制の全構成員を対象とする。(主査:川島宏一)

▶ 検討状況

- ▶ IMIロードマップならびに直近の注力ポイントについて合意

- ▶ 上記事項を表現した資料の策定を完了[参考資料1]



▶ ミッション

▶ IMI技術開発の優先度および導入手順に関する議論を行う。

▶ 想定する主要成果物

▶ 技術改定・導入のシナリオ案

▶ 検討メンバー(敬称略; ○は主査)

▶ 及川卓也、加藤文彦、頃末和義、高木祐介、○武田英明、松澤有三、山本暖

▶ 検討状況

▶ 法人インフォTFからの連携により、以下の技術改定を決定した

- コア語彙の改定(2.4.1 -> 2.4.2)
 - コード型へ説明プロパティ追加、実体型へ関与プロパティ追加、文書型へ日時プロパティ追加、他
- 語彙記法の改定(1.0 -> 1.0.1)
 - プロパティ項目に対する入力値の例示を可能とした、他
- DMD仕様改定(3.0 -> 3.0.1)
 - マッピングファイルの同梱を任意とした、他
- マッピング仕様の改定(1.0 -> 1.0.1)
 - 個々のマッピングに対するコメントを記述可能とした、他



▶▶ 法人インフォ対応を通じ、ドメイン語彙運用に関する課題に対して技術要件を整理した

- ドメイン語彙のネームスペース
 - ネームスペースとしてはimi.go.jp/ns/domain/{name} を想定する
 - /domain以下は、それぞれのドメイン管理者が責任を持つポリシー
 - ネームスペースはimi.go.jp配下に提供するが、本体はリダイレクトしてドメイン語彙策定者がホストする
 - 法人インフォ用ドメイン語彙は、ドメイン名“法人情報ドメイン”、ネームスペース “hojin”、プレフィックス “hj:”を予約
- ドメイン語彙のネーミングコンベンションルール
 - 今後の検討課題とした(法人インフォTFの暫定ルールをベースに検討)

▶▶ ドメイン語彙管理については政府全体の課題とすべく技術検討WGに以下を提言する

- ドメイン承認組織が必要である
 - ドメイン語彙策定におけるパブリックコメント運用の実施
 - 最低限必要な事項(ドメインの範囲、申請する主体、管理するURL、現在想定されるアプリケーションなど)を列挙した申請書の作成と審査
 - コア語彙ードメイン語彙間や個々のドメイン語彙間の用語調整
 - ドメイン語彙の整備主体の任命

▶▶ 推奨データセットを対象にデータモデル記述や構造化データ実装ガイドを検討中

- 固定値制約・グループ指定子等の使い分け、それらの構造化データ実装イメージ

▶▶ コア語彙解説書やそれに基づくデータやアプリケーションを構築するために必要な実装ガイド等については、次年度以降の申し送り事項とした



▶ ミッション

- ▶ IMI語彙記法の国際標準化について検討する。

▶ 想定する主要成果物

- ▶ 活動報告

▶ 検討メンバー(敬称略;○は主査)

- ▶ ○加藤文彦、菅又久直、武田英明

▶ 検討状況

- ▶ 語彙記法の名称を「Notation for vocabulary definition metamodel」と定め、国際提案に向けての予備段階を実施中(年度内の会合残1回)

- ISO/IEC JTC1/SC32/WG2小委員会において提案理由書のレビューを実施。SC32専門委員会への提案を合意。
- 2019年1月 SC32専門委員会にてNWIP(新業務項目提案)の審議を要請
- 今年度中のNWIP審議完了を目指し活動継続中

▶ 今後の活動予定

- 語彙記法をデファクトとして活用する利用者を増やす
- 日本としてGo/NoGoを最終判断
- 2019年5月までにNWIP準備を完了し、ISO/IEC JTC1の技術委員会で提案内容を審議
- 2019年6月 or 2020年5月のSC32本会議でのNWIP承認を経て、委員会による原案検討段階へ移行(後戻り不可)



▶ ミッション

▶ データの相互運用性を評価するための手法について検討する。

▶ 想定する主要成果物

▶ データ評価に必要な評価軸に関する報告書

▶ 検討メンバー(敬称略; ○は主査)

▶ 小田利彦、下山紗代子、高木祐介、武田英明、○早矢仕晃章

▶ 検討状況

▶ SIMAPS/IMAPSをベースにDTAの評価指標、その他公知のデータ作成ガイドライン等の情報を交えてデータの相互運用性の観点から評価軸の分類を検討(年度内の会合残1回)

- SIMAPS/IMAPSの分析
- DTAのデータ品質に関する検討資料から評価指標を参照(将来的な融合も視野に入れる)
- データ構造やマネジメントといった指標もリンクデータやオープンデータのガイドラインから参照

▶ データ評価についての欧州委員会でSIMAPSの改定に関する検討プロジェクトと意見交換しながらデータの精度、作成に係る管理体制等、適切な評価軸の検討を今後取りまとめてゆく

- 12月 第一回テレカンファレンス
 - 日本で考えていることを説明し、連携を合意
- 2月 第二回テレカンファレンス(予定)
 - データの持つ意味に基づいた相互運用性を考えた場合の評価軸について協議





その他

▶ 議事要旨・議事録について

- ▶ 3月初旬までに事務局が精査し、WGの承認を経た議事要旨をIMIサイトに公開予定
- ▶ 3月初旬までに事務局が精査し、WGの承認を経た議事録をWikiに公開予定

